



press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

〈報道関係のみなさま〉

ロベルト・アラニーヤ スーパーテノール待望の来日！ THE GREAT PUCCHINI プッチーニ没後 100 周年 スペシャル・プログラム

アラニーヤ、降臨 ～待ち焦がれたテノール、ロベルト・アラニーヤ ソロコンサート～ 来年 6 月 9 日(日)に開催が決定！

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:中村史郎)は、世界的なスーパーテノール、ロベルト・アラニーヤの来日コンサート「アラニーヤ、降臨 ～待ち焦がれたテノール、ロベルト・アラニーヤ ソロコンサート～」を2024年6月9日(日) サントリーホール 大ホール(東京都港区)で開催します。

オペラ界にスター歌手は数多くいるが、スーパーテノールといえばロベルト・アラニーヤだ。ひと声聴けば彼だと分かる、オペラ界屈指の美声の持ち主である。シチリア系の両親を持ちパリで生まれたアラニーヤはラテン系テノールの典型だ。若い頃ナイトクラブで歌いながら勉強してオペラ歌手になった彼は、人との間に垣根を作らない気さくな性格の持ち主で、それが舞台から感じられるのも大きな魅力である。そのアラニーヤが東京でただ一度だけのコンサートを開く。何と日本で歌うのは18年ぶり。現在もMET やスカラ座など一流歌劇場で活躍を続けているが、その合間をぬっての来日である。輝かしいアラニーヤの歌声に感嘆する一夜になるだろう。(オペラ・キュレーター井内美香)

■公式HP:<https://r-t.jp/alagna>



© Sony Music Entertainment

〈ロベルト・アラニーヤから日本の皆さまへ〉

長く来日できなかった年月の後で、ついに日本に帰ることができるのをとても幸せに思っています。日本ではいつも大歓迎をして頂きましたし、観客の皆さまから大きな愛情を受けていたからです。世界の色々な劇場で歌っていても、そこに日本のファンが訪れて下さることも多く、公演後に会いに来てくださる方たちから、また来日してオペラやリサイタルをして欲しいと言われていました。ですから今回、このコンサートで日本に帰れるのはとても幸せですし、将来またオペラの出演もできるよう願っています。

〈お問い合わせ〉

>

contact

朝日新聞社 メディア事業本部 アカウントソリューション 1 部
担当: 田中 entertainment_asahi@asahi.com



press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

<公演概要>

【公演名】

アラニーヤ、降臨 ～待ち焦がれたテノール、ロベルト・アラニーヤ ソロコンサート～

【開催日時・会場】

2024年6月9日(日) サントリーホール 大ホール 12:45 開場 13:30 開演

【出演】

テノール:ロベルト・アラニーヤ

指揮者:三ツ橋敬子

演奏:東京フィルハーモニー交響楽団

【プログラム】

The Great Puccini ～ プッチーニ・プログラム

【公演公式 HP】

<https://r-t.jp/alagna>

○チケット情報

【楽天チケット最速先行】 2024年1月27日(土)～

【プレイガイド先行】 2024年2月12日(月・祝)～

【一般発売】 2024年2月18日(日)～

【チケット価格】

S席 29,000円 A席 25,000円 B席 21,000円 C席 17,000円

※全席指定、税込、未就学児入場不可

○主催情報

【主催】TBS グロウディア、楽天チケット、朝日新聞社

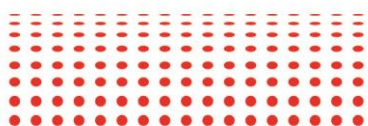
>

contact

<お問い合わせ>

朝日新聞社 メディア事業本部 アカウントソリューション 1部

担当: 田中 entertainment_asahi@asahi.com



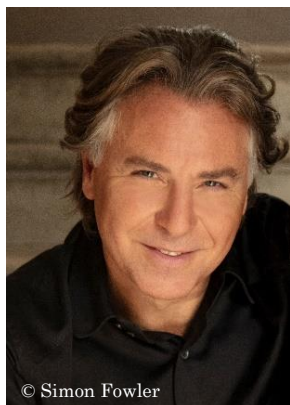
press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

【出演者プロフィール】

■ロベルト・アラニーヤ(テノール)/Roberto Alagna



© Simon Fowler

ポスト 3 大テノールと呼ばれ、突出した歌唱力と演技力で、現代を代表するテノールの 1 人。ロマンティックで情熱的そして抒情的な歌唱スタイルで世界のオペラ・ファンを魅了。オペラ好きで知らない人はいないという人気を誇るが、何度かの公演中止に見舞われ、日本との縁叶わず、日本で歌声を聞くことができなかった。今回はようやく来日が実現！長い間ファンが待ち望んでいた歌声がようやく聴ける。1990年にスカラ座、1992年にコヴェントガーデン、1996年にメトロポリタン歌劇場にデビュー。1994年に英国ロイヤルでシャルル・グノーの「ロメオとジュリエット」のロメオ役で大成功をおさめローレンス・オリヴィエ賞を受賞し、そこからはスターダム街道まっしぐらであった。ウィーン、スカラ、ロイヤルは当然ながら頻出し、デビュー以来ずっと活躍を続けている。

CD では、構想に 10 年以上をかけた伝説の名歌手に捧げるトリビュート・アルバム「Caruso」を 2019 年 11 月に発売。フランスの CD ランキングではクラシック部門 1 位を取得し、コンサート活動にも力を入れている。このアルバムではリカルで甘い歌い方とは違う側面を聴けるのが面白い。

■三ツ橋敬子(指揮)/Keiko Mitsuhashi



©Earl Ross

東京藝術大学及び同大学院を修了。ウィーン国立音楽大学とキジアーナ音楽院に留学。小澤征爾、小林研一郎、G.ジェルメッティ、E.アツツェル、H=M.シュナイト、湯浅勇治、松尾葉子、高階正光の各氏に師事。第 10 回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。併せて聴衆賞、ペドロッチ協会賞を受賞し、最年少優勝で初の 3 冠に輝いた。第 9 回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールで女性初の受賞者として準優勝。第 12 回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2009 年 Newsweek Japan 誌にて「世界が尊敬する日本人 100 人」に選出。N 響、読響、東京フィルをはじめ国内主要オーケストラとの共演を重ねる。一級小型船舶操縦士。

■東京フィルハーモニー交響楽団/Tokyo Philharmonic Orchestra(演奏)



©Takafumi Ueno

1911 年創立、日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。自主公演の他、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK 他における放送演奏で高水準の演奏活動を展開。海外公演も積極的に行い、高い注目を集める。1989 年より Bunkamura オーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

〈お問い合わせ〉

>

contact

朝日新聞社 メディア事業本部 アカウントソリューション 1 部
担当：田中 entertainment_asahi@asahi.com